

ニーズに基づいた専門医の養成に係る研究

研究分担者 小池 創一 自治医科大学地域医療学センター 地域医療政策部門 教授
今中 雄一 京都大学大学院医学研究科 医療経済学分野 教授
松田 晋哉 産業医科大学 公衆衛生学教室 教授
松本 正俊 広島大学大学院医系科学研究科 地域医療システム学講座 教授

研究要旨

本研究は、診療科別医師の必要数を推計するために必要となる、疾患-診療科の対応表を作成することを通じ、都道府県別診療科ごとの将来必要な医師数の見通しを試算する上での基礎資料を得ることを目的としている。本研究では DPC データに着目し、退院患者の実診療データに基づき、疾患-診療科の対応表の作成を試みた。DPC 病院は急性期病院である点、入院患者のみを分析対象としている点、一般病床以外(精神病床)については含まれていない点、保険診療以外(正常分娩等)が含まれていない点等留意すべき点はあるものの、現時点で利用可能なデータの中では最も規模の大きなデータベースに基づく分析となっており、今後の活用が期待される。

A. 研究目的

医師の偏在は、地域間・診療科間のそれぞれにおいて、長きにわたり課題として認識されながら、現時点においても解消が図られていない医療政策上の課題のひとつである。医療従事者の需給に関しては、医療従事者の需給に関する検討会医師需給分科会(以下「分科会」)においても、全国的な医師数の増加を図ったとしても、医師偏在対策が十分図られなければ、地域や診療科といったミクロの領域での医師不足の解消にはつながらないとの認識が広がる中で、さまざまな施策が検討されている。

一方、専門医制度については「専門医の在り方に関する検討会報告書」(平成 25 年4月)に基づき、新たな専門医の養成の仕組みの開始に向けて準備が進められ、平成 30 年度より新たな仕組みの下で制度が開始された。また、先の医療法・医師法改正により、医師の専門研修に関して、国から日本専門医機構等に対し、必要な研修機会

を確保するよう要請する権限の創設や、都道府県の意見を聴いた上で、国から日本専門医機構等に対し、専門医の養成に関して、地域医療の観点から必要な措置の実施を意見する仕組みの創設等が設けられ、医師養成過程を通じた地域における医師確保のための施策も強化された。

本研究班は、平成 28 年 6 月 3 日の医療従事者の需給に関する検討会・医師需給分科会中間取りまとめにおいて、「専攻医の募集定員については、診療領域ごとに、地域の人口、症例数等に応じた地域ごとの枠を設定することを検討する。」とされたことを受け、具体的な考え方や必要なデータ収集を行なうことを目的に平成 28 年度に厚生労働科学研究特別研究事業として開始され、平成 29 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(地域医療基盤開発推進研究)における検討を経て本年度に至っている。

これまでの研究成果は、分科会において、「将来の診療科ごとの医師の需要を明確化するにあ

たって具体的な手順(案)」として、紹介され¹たが、その後、平成 29 年 12 月に取りまとめられた分科会の第 2 次中間取りまとめでは、専門研修に関して、「診療科ごとに都道府県別の定員を設定し、臨床研修同様、マッチングの仕組みを導入することで、地域における診療科偏在を是正していくべき」という考え方や「定員設定等の導入は時期尚早であり、まずは今回の対策の効果をみるべき」との考え方が両論併記される等、平成 30 年度に引き続き技術的な検討を続けてゆくことが求められている状況にある。

この技術的な検討の中で最大の課題となっているのが、「将来の診療科ごとの医師の需要の明確化にあたっては、診療科と疾病・診療行為の対応表等を作成するために必要なデータの整理等を行う必要」があるとされている点である。現状では疾患に関する統計データは性・年齢階級別の有病率等のデータが整備されている他、将来人口推計も整備されているため、疾患別の患者数の将来推計を行うことが出来るものの、診療科と診療行為の紐付けが一定程度明確な診療科と、紐付けが困難な診療科が存在²するため、患者数の将来推計を診療科別の将来推計につなげる上では、疾患-診療科の対応表が必要となっている。

本研究の目的は、診療科別医師の必要数を推計するために必要となる疾患-診療科の対応表を作成することで、都道府県別診療科ごとの将来必要な医師数の見通しを試算する上での基礎資料を得ることにある。

B. 研究方法

疾患と診療科の関係を実診療データから得るために、本研究では DPC データに着目した。本研究では、厚生労働科学研究「保健医療介護現場

表1 診療科目の対応

主たる診療科	診療科目 (DPC)
内科+総合診療科	内科 心療内科 呼吸器科 消化器科 循環器科 アレルギー科 リウマチ科 神経内科 胃腸科 呼吸器内科 循環器内科 糖尿病科 血液透析科 代謝内科 内分泌内科 血液科 血液内科 消化器内科 糖尿内科 膠原病リウマチ内科 腫瘍治療科 総合診療科 内分泌リウマチ科 血液腫瘍内科 腎不全科 内分泌代謝科
小児科	小児科 新生児科 小児循環器科
皮膚科	皮膚科
精神科	精神科 神経科 精神神経科
外科	外科 呼吸器外科 心臓血管外科 小児外科 肛門科 気管食道科 消化器外科 肝胆嚢外科 大腸肛門科 乳腺甲状腺外科
整形外科	整形外科
産婦人科	産婦人科 産科 婦人科 不妊内分泌科
眼科	眼科
耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科
泌尿器科	泌尿器科 腎移植科
脳神経外科	脳神経外科 脳卒中科
放射線科	放射線科
麻酔科	麻酔科
救急科	救急医学科
形成外科	形成外科 美容外科
リハビリテーション科	リハビリテーション科

1 平成 29 年 10 月 25 日 医療従事者の需給に関する検討会 第13回 医師需給分科会 資料 医師養成過程における 地域での医師確保

2. 平成 30 年 9 月 28 日 医療従事者の需給に関する検討会 第 22 回 医師需給分科会 資料 2-2

の課題に即したビッグデータ解析を実践するための臨床疫学・統計・医療情報技術を磨く高度人材育成プログラムの開発と検証に関する研究」(研究代表者 東京大学 康永秀生)の協力を得て、2016 年度 1 年間の退院患者に関するデータから、ICD コード別、性・年齢階級別・DPC 診療科コード別の退院患者数の集計結果の提供を受けた。

診療科別必要医師数の検討の上では、患者調査による性・年齢階級別推計患者数と将来人口推計を用いて患者数の変化を推計するため、ICD コードを患者調査で用いられる傷病分類に再集計を行うとともに、DPC の診療科区分(69 種類)を、専門医の基本領域(18 領域、ただし、内科と総合診療科は1つの領域とする)に表1により集約した。

C. 研究結果

性・年齢階級別に疾患-診療科の対応表を得ることができた。以下、各疾患をどの診療科が担当しているかという観点から、疾患別担当診療科構成割合(表2)を、各診療科がどんな疾患を担当しているかという観点から、診療科別担当疾患構成割合(表3)を示す。

D. 考察

本研究により、将来の診療科ごとの医師の需要の明確化にあたって必要となる診療科と疾病の対応表を DPC データから作成することが出来た。

この換算表を用いて、診療科別医師の将来推計を実施するにあたっては、DPC データの特徴を踏まえ留意が必要な点が存在する。その主なものには、DPC 病院は一般病床の急性期病院である点(したがって、精神病床は対象外になっている)、

入院患者のみを分析対象としており、外来患者については情報が得られていないため、一定の仮定のもとで外来患者について推計を行なう必要がある点、正常分娩のような保険外診療の状況が含まれてない点等が主要なものである。また、今回は退院患者数を用いているため、在院期間や、患者の重症度については考慮されていない点等も留意が必要である。

ただ、1 年間で約 700 万人以上に上る実診療データを用いて医師の診療の実態を把握できた意義は大きく、本データの限界については理解したうえで必要な補正を加えることで、将来必要となる専門医の推計を行う上での貴重な資料得られた意義は大きいと考える。

その上で、今後に向けたいくつかの課題についても述べておきたい。

第1は、診療科別の労働時間に関するデータの整備の必要性である。医師の労働時間に関しては、日本労働政策研究・研修機構(JIL-PT)³、井元ら⁴、種田ら⁵の先行研究があるが、診療科や専門医資格の保有状況についてのより詳細な把握や、昨今の医師の働き方改革による変化を踏まえた新たなデータ整備が必要となっている点である。

第2は、診療科と疾患の対応表は、標榜科という観点から作成されているため、専門医と疾患に関するデータ整備・収集が必要となる点である。DPC データベースには、医療資源を最も投入した疾患を担当した診療科の情報は収集されているものの、専門医が診療に携わっているかについては情報が無い。専門医資格の有無が何らかの診療パターンの違いにつながっているかについての検証は必要である。

第3は、必要医師数を性・年齢階級別の労働時間で調整することは、平均労働時間に性差がある現状を反映させた必要医師数の推計の上では妥

3 労働政策研究・研修機構(JILPT)調査シリーズ No.102 勤務医の就労実態と意識に関する調査

4 井元 清哉. 平成 28 年度厚生労働科学特別研究「医

師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査」

5 種田憲一郎. 平成 29 年度厚生労働行政推進調査事業費「病院勤務医の勤務実態に関する研究」報告書

当なものであっても、その運用においては留意が必要である点である。現状の男女の役割分担や勤務時間の差が適切なものであるかどうかという点や、男女別の医師の人数をどう考えるかは、今後とも議論が必要なテーマであると考えられる。

E.結論

DPC を用いて、疾患-診療科の対応表を作成することには一定の限界はあるにしても、都道府県別診療科ごとの将来必要な医師数の見通しを試算する上は、現時点で利用可能なデータの中では最も有益なものとなっていると考えられる。

謝辞

本研究の実施に当たっては、厚生労働科学研究「保健医療介護現場の課題に即したビッグデータ解析を实践するめ臨床疫・統計情報技術磨く高度人材育成プログラム開発と検証に関する研究」(研究代表者 東京大学 康永秀生)より、DPC データの集計結果の提供を受けた。ここに深く感謝の意を表するものである。

F.研究発表

該当無し

G.知的財産権の出願・登録状況

該当無し

表2 疾患別担当診療科構成割合

	内 科 + 総 合 診 療 科	小 児 科	皮 膚 科	精 神 科
感染症および寄生虫症	56.5	20.0	7.0	0.1
新生物＜腫瘍＞	38.6	0.6	1.5	0.3
血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	61.4	13.5	1.1	0.3
内分泌・栄養および代謝疾患	78.1	9.7	0.2	0.3
精神および行動の障害	24.4	3.2	0.0	64.0
神経系の疾患	50.9	9.0	0.0	2.0
眼および付属器の疾患	0.8	0.1	0.0	1.0
耳および乳様突起の疾患	24.6	3.0	0.0	0.5
循環器系の疾患	67.6	0.4	0.1	0.1
呼吸器系の疾患	58.7	22.0	0.0	0.1
消化器系の疾患	56.4	1.1	0.0	0.2
皮膚および皮下組織の疾患	18.7	7.9	36.0	0.7
筋骨格系および結合組織の疾患	16.3	3.5	0.6	0.3
尿路性器系の疾患	39.7	3.4	0.0	0.3
妊娠・分娩および産じょく＜褥＞	1.2	0.0	0.0	0.2
周産期に発生した病態	0.5	88.5	0.0	0.3
先天奇形・変形および染色体異常	8.6	25.5	1.1	0.6
症状・徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	17.4	63.0	0.0	0.3
損傷・中毒およびその他の外因の影響	10.5	4.4	0.4	0.3
健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	48.4	4.5	0.0	0.1

表3 診療科別担当疾患構成割合

	内 科 + 総 合 診 療 科	小 児 科	皮 膚 科	精 神 科
感染症および寄生虫症	3.4	8.4	16.8	0.4
新生物＜腫瘍＞	21.1	2.3	32.6	8.5
血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	1.2	1.8	0.8	0.3
内分泌・栄養および代謝疾患	4.8	4.1	0.5	1.0
精神および行動の障害	0.4	0.4	0.0	59.6
神経系の疾患	3.4	4.1	0.1	6.6
眼および付属器の疾患	0.1	0.1	0.2	6.7
耳および乳様突起の疾患	0.6	0.5	0.0	0.6
循環器系の疾患	25.7	1.1	1.7	1.3
呼吸器系の疾患	13.2	34.3	0.4	1.6
消化器系の疾患	15.5	2.0	0.2	2.2
皮膚および皮下組織の疾患	0.5	1.5	38.6	1.0
筋骨格系および結合組織の疾患	2.0	2.9	2.6	1.8
尿路性器系の疾患	5.1	3.0	0.2	1.9
妊娠・分娩および産じょく＜褥＞	0.1	0.0	0.0	0.9
周産期に発生した病態	0.0	20.1	0.0	0.5
先天奇形・変形および染色体異常	0.2	3.7	0.9	0.7
症状・徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0.1	2.3	0.0	0.1
損傷・中毒およびその他の外因の影響	2.5	7.4	4.3	4.2
健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	救急科	形成外科	リハビリテーション科	合計
7.8	0.7	1.0	0.1	1.3	1.8	0.5	0.0	0.3	2.5	0.2	0.1	100.0
29.6	1.3	10.8	0.1	3.2	9.3	2.1	0.8	0.1	0.0	1.5	0.0	100.0
12.0	0.8	4.4	0.1	0.5	3.5	0.6	0.1	0.1	1.6	0.1	0.1	100.0
5.2	0.6	0.3	0.4	0.9	0.8	1.2	0.1	0.2	1.7	0.3	0.1	100.0
2.5	0.4	0.4	0.0	0.1	0.1	1.4	0.0	0.3	2.9	0.1	0.2	100.0
1.6	6.6	0.1	0.0	7.6	0.1	18.1	0.0	0.7	2.1	0.4	0.8	100.0
0.1	0.0	0.0	95.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	100.0
1.5	0.1	0.1	0.0	61.0	0.1	7.0	0.0	0.1	1.6	0.3	0.0	100.0
10.4	0.4	0.1	0.0	0.0	0.2	16.9	0.1	0.2	2.0	0.3	1.1	100.0
5.8	0.3	0.1	0.0	10.6	0.3	0.4	0.0	0.1	1.3	0.0	0.1	100.0
40.3	0.2	0.4	0.0	0.4	0.2	0.1	0.1	0.0	0.6	0.1	0.0	100.0
8.3	7.9	0.7	0.1	2.6	0.5	0.4	0.0	0.1	0.9	15.0	0.1	100.0
1.2	71.9	0.1	0.1	0.1	0.1	3.2	0.0	0.4	0.4	0.8	1.1	100.0
3.8	0.3	16.2	0.0	0.2	34.9	0.2	0.0	0.1	0.7	0.1	0.0	100.0
0.0	0.0	98.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
0.1	0.0	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
22.3	5.5	1.2	1.4	4.9	6.2	5.7	0.4	0.0	0.1	16.5	0.1	100.0
2.8	0.1	0.0	0.0	14.6	0.1	0.1	0.2	0.2	1.1	0.0	0.0	100.0
5.4	59.3	0.3	0.7	0.5	0.9	8.0	0.1	0.3	5.3	2.3	1.4	100.0
18.5	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	救急科	形成外科	リハビリテーション科
1.3	0.2	0.4	0.0	1.2	1.1	0.3	0.4	4.8	4.6	0.5	0.5
44.5	2.9	36.4	0.6	26.2	49.1	10.0	78.2	15.2	0.8	30.3	1.3
0.6	0.1	0.5	0.0	0.1	0.7	0.1	0.4	0.5	1.0	0.1	0.1
0.9	0.2	0.1	0.2	0.8	0.5	0.7	1.1	2.5	3.2	0.6	0.6
0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	1.5	1.6	0.1	0.4
0.3	1.8	0.0	0.0	7.4	0.1	10.2	0.2	11.8	4.2	1.1	5.0
0.0	0.0	0.0	97.4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0
0.1	0.0	0.0	0.0	20.7	0.0	1.4	0.1	0.8	1.1	0.2	0.0
10.9	0.5	0.2	0.0	0.2	0.9	55.0	8.9	16.6	24.0	4.3	41.3
3.6	0.3	0.1	0.0	35.5	0.7	0.7	1.6	7.8	9.2	0.3	1.4
30.4	0.2	0.6	0.0	1.7	0.7	0.2	3.3	1.8	5.0	1.1	0.9
0.6	0.9	0.1	0.0	1.0	0.1	0.1	0.2	0.4	0.8	14.8	0.3
0.4	34.7	0.0	0.1	0.1	0.2	3.3	0.1	14.3	1.6	3.7	13.1
1.3	0.2	12.7	0.0	0.4	42.7	0.2	0.5	2.2	2.8	0.6	0.6
0.0	0.0	46.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1.3	0.5	0.1	0.2	1.5	1.2	1.0	1.4	0.1	0.1	12.4	0.2
0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.2	0.3	0.2	0.0	0.0
3.6	57.7	0.4	1.4	1.7	2.0	16.6	3.2	19.1	39.8	20.1	34.3
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

都道府県別診療科ごとの将来必要な医師数の見通しについて

第7回医療従事者の需給に関する検討会
第30回 医師需給分科会

別添
資料
3

平成31年3月22日

(留意点)

- 本資料で提示する推計は、実際の診療データに基づき、現状の各診療科の診療実態を反映したエビデンスに基づくものであるが、現状の診療科と疾病等の対応が将来維持されるものと仮定し、機械的に算出したものであり、総合的な診療の領域※2の役割などについて別途検討を行う必要があることに留意しつつ、幅を持った検討を行う必要があるものである。
- 各診療科医師数と専門医資格保有医師数は異なるものであり、必ずしも、養成数が専攻医養成数を意味しない。
- 各都道府県別の必要医師数の見通しについては、全国の見通しを患者数の比で機械的に按分※3したもの。

※1 計算の仮定・前提は以下の通り。

- 12
- 厚生労働科学研究「保健医療介護現場の課題に即したビッグデータ解析を実践するための臨床疫学・統計・医療情報技術を磨く高度人材育成プログラムの開発と検証に関する研究」(研究代表者 東京大学 康永秀生)の研究結果(DPCデータから求めた69診療科×傷病分類(ICD-10)別の患者数)を用いて、厚生労働科学研究「ニーズに基づく専門医の養成に係る研究」(研究代表者 自治医科大学 小池創一)において、基本診療領域×傷病中分類(患者調査)別の患者数を算出し、基本診療領域と疾病等との対応表を作成。
 - 放射線科、臨床検査、救急科、リハビリテーション科については、全診療科における患者数、麻酔科、病理については、外科における患者数、精神科については、患者調査における「精神及び行動の障害」における患者数を用いた。
 - 現在＝2016年医師数(仕事量)については、平成28年医師届出票における主たる診療科別医師数を基本診療領域に統合(主たる診療科について、内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科(胃腸内科)、腎臓内科、神経内科、糖尿病内科(代謝内科)、血液内科、アレルギー科、リウマチ科、感染症内科、心療内科については内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科(胃腸外科)、肛門外科、小児外科については外科、産婦人科、産科、婦人科については産婦人科、形成外科、美容外科については形成外科として集計)したものを用い、性年齢階級別に第3次中間取りまとめにおけるマクロ供給推計の仕事率を掛け合わせた。
 - 現在＝2016年における必要医師数については、各診療科別勤務時間等(「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査」(平成28年度厚生労働科学特別研究「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査研究」研究班)結果を基に医政局医事課で作成)及び第3次中間取りまとめにおける勤務時間を週60時間に制限する等の仮定をおくマクロ需要推計の推計値(需要ケース2)を用いて調整。
 - 2016年、2024年、2030年、2036年における必要医師数については、「診療科と疾病等の対応表」に基づき、性年齢階級別の人口推計及び平成26年患者調査に基づく受療率を踏まえ計算。
 - 全国の推計値については、第3次中間取りまとめにおけるマクロ需給推計の推計値と整合性をとるために調整。
 - 年間養成数の算出にあたっては、診療科別の生残率を用いた。

※2 総合診療、救急、ICU・病棟管理領域等を想定。

※3 全国の性年齢階級別受療率と都道府県の性年齢階級別推計人口を用いて都道府県別診療科ごとの患者数を推計し、平成26年の患者数に基づく都道府県別診療科ごとの施設所在地ベースの患者数と患者住所地ベースの患者数の比が将来も一定であるものとして患者流出入後の患者数を計算した。

内科

※事務局において機械的に計算（暫定版）

※留意点等は別ページを参照

	2016年		2024年	2030年	2036年	必要養成数に係る推計			
	2016年医師数（仕事量）	必要医師数（勤務時間調整後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	維持するための年間養成数を	2024年の必要医師数を達成するための年間養成数を	2030年の必要医師数を達成するための年間養成数を	2036年の必要医師数を達成するための年間養成数を
北海道	4,849	5,470	5,649	5,690	5,548	103	193	159	136
青森県	881	1,370	1,362	1,334	1,283	20	74	50	39
岩手県	895	1,338	1,321	1,295	1,249	20	67	46	36
宮城県	2,088	2,245	2,356	2,402	2,368	42	72	63	56
秋田県	815	1,164	1,125	1,080	1,029	17	52	35	27
山形県	855	1,217	1,189	1,161	1,118	19	56	39	31
福島県	1,367	1,938	1,944	1,933	1,876	33	97	70	57
茨城県	1,875	2,761	2,881	2,924	2,857	38	151	107	85
栃木県	1,600	1,922	1,981	2,005	1,963	32	75	59	50
群馬県	1,611	1,983	2,044	2,064	2,017	35	84	65	55
埼玉県	4,198	6,102	6,665	6,907	6,830	87	364	266	213
千葉県	4,198	5,597	6,038	6,211	6,112	82	288	215	173
東京都	15,010	12,496	13,316	13,783	13,780	279	90	198	221
神奈川県	6,679	7,782	8,459	8,776	8,719	125	325	264	222
新潟県	1,724	2,409	2,409	2,382	2,309	38	115	82	66
富山県	919	1,100	1,113	1,105	1,070	20	42	33	28
石川県	1,196	1,134	1,169	1,180	1,156	24	21	23	22
福井県	639	794	799	797	776	14	32	24	20
山梨県	647	821	831	831	808	14	34	26	21
長野県	1,657	2,209	2,227	2,223	2,164	36	100	74	60
岐阜県	1,714	1,970	2,006	1,999	1,938	36	69	55	47
静岡県	2,564	3,695	3,829	3,861	3,768	53	195	139	111
愛知県	5,817	6,722	7,200	7,417	7,346	113	268	218	185
三重県	1,501	1,753	1,785	1,785	1,737	34	66	53	45
滋賀県	1,144	1,261	1,336	1,376	1,364	23	44	38	33
京都府	3,106	2,520	2,637	2,665	2,604	61	8	32	37
大阪府	9,022	8,366	8,807	8,899	8,675	178	154	170	162
兵庫県	4,863	5,254	5,520	5,612	5,503	99	173	149	130
奈良県	1,214	1,301	1,346	1,348	1,303	25	40	34	29
和歌山県	1,104	1,019	998	972	930	25	13	16	16
鳥取県	637	633	633	629	614	14	13	13	13
島根県	741	750	734	717	692	15	15	14	13
岡山県	2,121	1,937	1,977	1,983	1,936	44	27	34	35
広島県	2,696	2,802	2,902	2,929	2,864	58	81	74	66
山口県	1,235	1,487	1,474	1,442	1,383	29	56	43	36
徳島県	915	824	811	795	766	21	9	13	14
香川県	929	1,004	1,011	1,005	978	20	29	25	22
愛媛県	1,280	1,456	1,454	1,436	1,389	28	48	39	34
高知県	812	810	785	761	728	18	15	15	14
福岡県	5,914	4,886	5,164	5,294	5,235	116	32	75	84
佐賀県	852	838	844	843	823	18	17	17	17
長崎県	1,551	1,441	1,431	1,409	1,361	34	21	25	25
熊本県	1,964	1,846	1,859	1,853	1,809	42	30	35	35
大分県	1,233	1,245	1,251	1,240	1,202	26	28	26	25
宮崎県	922	1,181	1,186	1,176	1,141	20	50	37	30
鹿児島県	1,692	1,713	1,691	1,668	1,619	38	37	36	34
沖縄県	1,127	1,206	1,315	1,389	1,408	21	43	39	35

小児科

※事務局において機械的に計算（暫定版）

※留意点等は別ページを参照

	2016年		2024年	2030年	2036年	必要養成数に係る推計			
	2016年医師数（仕事量）	必要医師数（勤務時間調整後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	維持するための年間養成数を	2024年の必要医師数を達成するための年間養成数を	2030年の必要医師数を達成するための年間養成数を	2036年の必要医師数を達成するための年間養成数を
北海道	630	742	696	661	625	16	24	19	16
青森県	129	177	160	147	136	4	7	5	4
岩手県	132	171	156	146	136	3	6	4	4
宮城県	279	317	303	290	276	7	9	7	7
秋田県	120	138	122	111	102	3	3	2	2
山形県	137	160	146	136	127	3	4	3	3
福島県	206	269	247	232	218	6	10	7	6
茨城県	279	395	372	355	337	7	18	12	10
栃木県	227	284	269	258	246	5	10	8	6
群馬県	275	292	276	264	251	7	7	6	6
埼玉県	714	964	948	930	897	17	45	33	27
千葉県	630	833	813	793	764	15	37	27	22
東京都	2,284	1,869	1,869	1,869	1,834	49	0	19	25
神奈川県	1,078	1,173	1,152	1,134	1,099	25	34	29	26
新潟県	267	325	301	285	268	7	11	8	7
富山県	155	148	138	131	124	4	2	2	2
石川県	169	160	152	146	139	4	2	3	3
福井県	122	109	102	97	92	3	1	1	1
山梨県	124	117	108	102	97	3	1	1	1
長野県	288	300	279	265	251	7	6	5	5
岐阜県	243	285	266	253	239	6	9	7	6
静岡県	396	563	534	513	488	10	26	18	15
愛知県	899	1,138	1,118	1,100	1,066	20	46	34	29
三重県	201	257	242	231	220	5	10	8	6
滋賀県	222	200	195	191	185	5	2	3	3
京都府	434	373	358	345	329	10	1	4	5
大阪府	1,192	1,259	1,206	1,162	1,110	27	29	25	23
兵庫県	716	809	773	745	711	18	24	20	17
奈良県	156	185	173	164	154	4	6	4	4
和歌山県	132	161	147	138	129	3	5	4	3
鳥取県	124	94	88	85	80	3	-1	0	1
島根県	97	97	90	85	80	3	2	2	2
岡山県	296	270	257	248	237	7	3	4	4
広島県	347	398	382	370	354	9	13	11	9
山口県	171	195	180	169	158	5	6	4	4
徳島県	106	117	108	101	95	3	3	2	2
香川県	149	145	137	130	124	4	2	2	2
愛媛県	182	195	179	169	159	5	4	4	3
高知県	102	113	103	95	89	3	3	2	2
福岡県	803	756	740	724	698	18	11	13	13
佐賀県	122	130	122	117	111	3	3	3	2
長崎県	200	208	192	180	169	5	4	4	4
熊本県	251	294	279	268	255	6	10	8	7
大分県	165	184	173	164	155	4	5	4	3
宮崎県	126	188	176	166	157	3	9	6	5
鹿児島県	184	247	229	215	203	5	10	7	6
沖縄県	235	201	201	201	197	6	2	3	4

皮膚科

※事務局において機械的に計算（暫定版）

※留意点等は別ページを参照

	2016年		2024年	2030年	2036年	必要養成数に係る推計			
	2016年医師数（仕事量）	必要医師数（勤務時間調整後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	維持するための年 間養成数を 推計する 2016年の 年間養成 数を	達成するための 必要医師 数を推計 2024年の 年間養成 数を	達成するための 必要医師 数を推計 2030年の 年間養成 数を	達成するための 必要医師 数を推計 2036年の 年間養成 数を
北海道	340	381	358	340	321	7	10	7	7
青森県	70	94	85	78	72	2	3	2	2
岩手県	59	90	83	78	73	1	4	3	2
宮城県	133	166	159	153	145	3	6	4	4
秋田県	49	73	64	59	54	1	3	2	1
山形県	68	80	73	68	64	2	2	2	1
福島県	70	134	124	116	109	2	8	5	4
茨城県	148	201	191	182	172	3	8	6	5
栃木県	119	136	130	124	118	3	4	3	3
群馬県	108	149	141	135	128	3	6	4	4
埼玉県	379	486	479	469	451	8	20	14	12
千葉県	312	396	390	380	365	7	16	12	10
東京都	1,508	1,011	1,016	1,014	993	31	-25	-3	6
神奈川県	600	616	608	597	577	13	13	12	11
新潟県	136	163	152	143	135	3	5	4	3
富山県	74	74	69	66	62	2	1	1	1
石川県	106	83	80	77	73	2	-1	0	1
福井県	56	56	53	50	48	1	1	1	1
山梨県	50	59	54	51	48	1	2	1	1
長野県	111	150	141	134	126	3	6	4	3
岐阜県	111	157	148	140	132	3	7	5	4
静岡県	199	256	243	233	221	5	10	7	6
愛知県	501	532	524	514	497	11	14	12	11
三重県	104	125	118	113	107	2	4	3	3
滋賀県	77	99	97	95	92	2	4	3	2
京都府	228	190	183	175	167	5	-1	1	2
大阪府	607	622	598	574	547	14	13	12	11
兵庫県	355	389	373	359	342	8	10	8	7
奈良県	97	93	87	82	77	2	1	1	1
和歌山県	71	74	68	64	59	2	1	1	1
鳥取県	39	41	39	37	35	1	1	1	1
島根県	48	50	46	44	41	1	1	1	1
岡山県	137	137	131	127	121	3	2	2	2
広島県	197	203	197	190	182	5	5	4	4
山口県	82	100	93	87	82	2	4	3	2
徳島県	61	51	47	44	41	1	0	0	1
香川県	66	70	66	63	60	2	2	1	1
愛媛県	78	104	96	91	85	2	4	3	3
高知県	50	52	47	44	41	1	1	1	1
福岡県	404	367	361	353	340	9	4	6	6
佐賀県	57	58	54	52	49	1	1	1	1
長崎県	107	98	91	85	80	3	1	1	1
熊本県	144	129	122	118	112	3	1	2	2
大分県	68	84	79	75	71	2	3	2	2
宮崎県	65	84	78	74	70	2	3	2	2
鹿児島県	98	120	112	105	99	2	4	3	2
沖縄県	88	104	105	105	103	2	4	3	2

精神科

※事務局において機械的に計算（暫定版）

※留意点等は別ページを参照

	2016年		2024年	2030年	2036年	必要養成数に係る推計			
	2016年医師数（仕事量）	必要医師数（勤務時間調整後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	維持するための年 間養成数を 推計する 2016年の 年間養成 数を	達成するための 必要医師 数を推計 2024年の 年間養成 数を	達成するための 必要医師 数を推計 2030年の 年間養成 数を	達成するための 必要医師 数を推計 2036年の 年間養成 数を
北海道	722	724	688	664	633	15	11	11	11
青森県	148	183	168	157	147	3	5	4	3
岩手県	126	173	160	151	143	2	6	4	3
宮城県	266	299	290	283	272	5	8	6	5
秋田県	141	145	130	119	111	3	1	1	1
山形県	147	153	140	132	125	3	2	2	2
福島県	201	242	224	212	200	4	7	5	4
茨城県	239	384	370	361	347	5	19	13	10
栃木県	177	271	259	252	242	3	12	8	6
群馬県	227	265	254	247	237	4	7	6	5
埼玉県	625	860	864	865	844	11	37	27	21
千葉県	634	846	839	835	811	11	34	24	19
東京都	2,069	1,691	1,708	1,726	1,701	36	-4	14	19
神奈川県	1,002	1,100	1,103	1,104	1,078	17	28	24	21
新潟県	210	309	288	275	262	4	13	9	7
富山県	128	146	137	132	126	3	4	3	3
石川県	158	156	149	146	140	3	2	2	2
福井県	92	103	97	94	90	2	2	2	2
山梨県	93	112	105	100	95	2	3	2	2
長野県	223	276	260	251	240	5	9	6	5
岐阜県	172	260	246	238	227	3	11	8	6
静岡県	347	488	467	453	435	6	20	13	10
愛知県	767	955	953	953	931	14	34	26	21
三重県	217	239	227	220	210	4	6	5	4
滋賀県	131	174	172	171	166	2	7	5	4
京都府	358	350	339	331	319	6	4	5	5
大阪府	1,058	1,172	1,140	1,118	1,076	19	28	23	20
兵庫県	600	686	667	653	630	11	18	14	12
奈良県	167	172	163	157	149	3	2	2	2
和歌山県	101	126	115	109	103	2	4	3	2
鳥取県	93	85	81	78	75	2	1	1	1
島根県	115	98	91	86	82	2	0	0	1
岡山県	290	248	237	231	223	6	0	2	3
広島県	370	382	368	361	348	7	7	7	6
山口県	200	187	173	164	156	4	1	2	2
徳島県	128	108	99	94	88	2	-1	0	1
香川県	141	133	125	121	116	3	1	1	2
愛媛県	143	185	172	164	156	3	6	4	3
高知県	119	100	91	85	80	2	-1	0	1
福岡県	865	652	641	635	618	16	-8	1	5
佐賀県	164	122	115	111	106	3	-3	-1	0
長崎県	215	182	168	159	151	5	-1	1	2
熊本県	327	234	221	213	204	7	-5	-1	1
大分県	175	151	142	136	130	4	0	1	2
宮崎県	189	155	145	138	131	4	-1	0	1
鹿児島県	258	215	198	188	178	5	-1	1	1
沖縄県	267	169	172	175	173	5	-5	-1	1

外科

※事務局において機械的に計算（暫定版）

※留意点等は別ページを参照

	2016年		2024年	2030年	2036年	必要養成数に係る推計			
	2016年医師数（仕事量）	必要医師数（勤務時間調整後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	維持するための年 間養成数を 推計する 2016年の 医師数を 数	達成するための 必要医師 数を 推計する 2024年の 必要医師 数を 数	達成するための 必要医師 数を 推計する 2030年の 必要医師 数を 数	達成するための 必要医師 数を 推計する 2036年の 必要医師 数を 数
北海道	1,159	1,461	1,449	1,424	1,367	37	71	56	48
青森県	264	356	341	326	308	9	18	13	11
岩手県	278	358	343	330	314	9	17	13	11
宮城県	606	610	617	615	596	18	20	19	18
秋田県	224	302	282	266	249	7	14	10	8
山形県	244	316	300	288	274	8	14	11	9
福島県	384	514	499	485	463	12	26	19	16
茨城県	550	724	727	718	691	17	38	29	25
栃木県	435	520	518	513	495	13	23	19	16
群馬県	444	546	544	537	518	14	26	21	18
埼玉県	1,083	1,693	1,762	1,778	1,737	34	114	84	69
千葉県	1,262	1,516	1,566	1,572	1,530	39	74	61	53
東京都	3,482	3,566	3,698	3,773	3,742	102	127	122	115
神奈川県	1,530	2,172	2,260	2,289	2,248	45	130	99	83
新潟県	373	634	616	598	572	12	40	28	23
富山県	229	292	286	278	266	7	14	11	9
石川県	289	305	304	300	290	9	11	10	9
福井県	197	212	208	203	195	6	8	7	6
山梨県	190	223	218	213	204	6	10	8	7
長野県	474	578	566	554	533	15	26	21	18
岐阜県	373	532	523	510	488	12	29	22	18
静岡県	777	980	979	966	931	24	47	37	32
愛知県	1,434	1,883	1,942	1,959	1,919	45	104	82	70
三重県	374	466	459	450	432	12	22	17	15
滋賀県	296	344	352	355	347	9	16	14	12
京都府	892	679	683	675	651	27	3	12	15
大阪府	2,181	2,308	2,328	2,299	2,219	67	85	76	69
兵庫県	1,321	1,425	1,438	1,427	1,381	43	57	51	46
奈良県	278	348	345	336	321	9	16	13	11
和歌山県	227	266	253	243	230	7	10	8	7
鳥取県	167	162	158	155	149	5	4	4	4
島根県	146	193	184	178	169	5	9	7	6
岡山県	569	517	512	504	487	19	12	14	14
広島県	808	748	750	742	718	27	20	22	22
山口県	383	384	369	354	335	13	11	11	10
徳島県	233	220	210	202	192	8	5	6	6
香川県	257	269	264	257	247	9	10	9	8
愛媛県	385	384	371	359	343	13	11	11	11
高知県	208	208	196	186	176	7	6	6	5
福岡県	1,519	1,344	1,376	1,382	1,350	48	31	38	39
佐賀県	213	222	218	214	206	7	7	7	7
長崎県	437	382	369	356	339	15	7	9	10
熊本県	447	487	479	470	453	15	19	16	15
大分県	314	322	314	306	293	10	10	10	9
宮崎県	287	302	294	286	274	10	10	10	9
鹿児島県	415	445	429	416	398	14	15	14	13
沖縄県	296	343	363	376	375	9	17	15	14

整形外科

※事務局において機械的に計算（暫定版）

※留意点等は別ページを参照

	2016年		2024年	2030年	2036年	必要養成数に係る推計			
	2016年医師数（仕事量）	必要医師数（勤務時間調整後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	維持するための年 間養成数を 推計する 2016年の 医師数を 数	達成するための 必要医師 数を 推計する 2024年の 必要医師 数を 数	達成するための 必要医師 数を 推計する 2030年の 必要医師 数を 数	達成するための 必要医師 数を 推計する 2036年の 必要医師 数を 数
北海道	936	1,068	1,112	1,122	1,083	22	42	35	29
青森県	197	274	273	268	256	5	14	10	8
岩手県	157	261	257	253	242	4	15	10	8
宮城県	340	424	446	457	447	8	20	16	13
秋田県	174	230	222	214	202	4	9	6	5
山形県	208	235	230	225	216	5	7	6	5
福島県	271	381	384	384	371	7	20	14	12
茨城県	396	521	550	559	542	9	26	20	16
栃木県	310	371	386	391	380	7	16	12	10
群馬県	337	377	392	396	384	8	14	12	10
埼玉県	832	1,209	1,334	1,372	1,342	19	76	55	44
千葉県	908	1,095	1,193	1,220	1,189	20	52	41	34
東京都	2,457	2,413	2,573	2,648	2,632	52	65	65	61
神奈川県	1,401	1,534	1,679	1,731	1,706	30	62	52	45
新潟県	335	461	462	458	440	8	23	16	13
富山県	195	226	230	228	218	5	9	7	6
石川県	230	222	231	233	225	5	5	5	5
福井県	145	154	156	155	150	3	5	4	4
山梨県	159	167	170	170	164	4	5	4	4
長野県	354	426	432	430	416	8	17	13	11
岐阜県	294	386	397	395	379	7	18	14	11
静岡県	562	702	732	736	712	13	32	24	20
愛知県	1,067	1,283	1,386	1,420	1,394	23	59	47	39
三重県	303	327	335	335	323	7	11	9	8
滋賀県	222	243	260	268	263	5	9	8	7
京都府	550	490	517	520	502	12	8	10	10
大阪府	1,708	1,615	1,712	1,715	1,656	38	39	39	36
兵庫県	1,040	1,039	1,101	1,115	1,084	24	31	29	26
奈良県	271	262	274	273	262	6	7	7	6
和歌山県	208	199	196	191	181	5	3	4	3
鳥取県	124	122	123	122	118	3	3	3	3
島根県	128	147	144	141	135	3	5	4	3
岡山県	365	376	386	386	373	8	11	10	9
広島県	531	541	564	567	548	13	17	15	14
山口県	250	290	290	282	267	6	11	8	7
徳島県	158	162	160	157	150	4	4	4	4
香川県	227	201	204	203	195	6	3	4	4
愛媛県	276	285	286	283	271	7	8	7	7
高知県	185	156	152	147	139	5	1	2	2
福岡県	1,213	925	986	1,012	991	26	1	13	15
佐賀県	194	168	170	171	166	4	2	3	3
長崎県	305	275	274	272	261	7	4	5	5
熊本県	385	357	360	361	350	10	7	8	8
大分県	238	251	253	251	241	6	7	6	6
宮崎県	234	229	231	231	222	6	5	5	5
鹿児島県	308	332	328	327	316	8	10	9	8
沖縄県	226	223	244	261	264	5	7	7	7

産婦人科

※事務局において機械的に計算（暫定版）

※留意点等は別ページを参照

	2016年		2024年	2030年	2036年	必要養成数に係る推計			
	2016年医師数（仕事量）	必要医師数（勤務時間調整後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	維持するための年 間養成数を 推計する	2024年の必要 年間養成数を 推計する	2030年の必要 年間養成数を 推計する	2036年の必要 年間養成数を 推計する
北海道	472	605	541	501	468	11	18	13	11
青森県	99	142	123	110	100	2	5	3	2
岩手県	105	136	120	109	101	3	4	3	2
宮城県	228	266	242	226	211	5	7	5	4
秋田県	108	110	93	83	75	2	1	1	1
山形県	103	114	101	92	85	2	2	2	2
福島県	141	207	183	168	155	4	9	6	4
茨城県	238	299	272	255	238	6	9	7	6
栃木県	199	228	207	195	183	4	5	4	4
群馬県	179	218	198	187	176	4	7	5	4
埼玉県	504	717	678	653	625	12	31	22	18
千葉県	505	656	615	590	564	12	24	17	14
東京都	1,938	1,713	1,658	1,634	1,592	38	7	18	21
神奈川県	862	1,008	957	928	893	18	29	23	20
新潟県	173	262	235	217	202	5	11	7	6
富山県	103	121	110	103	96	2	3	2	2
石川県	113	127	117	111	106	3	3	3	2
福井県	80	85	77	73	68	2	2	1	1
山梨県	90	89	79	73	68	2	1	1	1
長野県	173	217	196	184	174	4	7	5	4
岐阜県	177	219	197	184	172	5	7	5	4
静岡県	331	393	357	337	318	7	10	8	7
愛知県	716	830	786	761	732	15	23	18	16
三重県	166	195	177	166	156	4	5	4	4
滋賀県	130	152	142	138	132	3	4	3	3
京都府	279	320	294	279	263	6	8	6	6
大阪府	1,041	1,021	948	902	855	23	12	14	14
兵庫県	534	633	579	548	518	13	18	14	12
奈良県	132	141	126	117	109	3	2	2	2
和歌山県	103	109	96	88	82	3	2	2	2
鳥取県	66	64	58	55	51	1	0	1	1
島根県	66	73	66	61	57	2	2	1	1
岡山県	210	202	188	179	170	5	2	3	3
広島県	249	309	286	273	260	6	10	8	7
山口県	124	152	134	124	116	3	4	3	3
徳島県	80	83	74	68	63	2	1	1	1
香川県	92	107	97	91	86	2	3	2	2
愛媛県	124	152	134	123	115	3	4	3	3
高知県	60	80	69	63	58	2	2	2	1
福岡県	550	582	547	525	502	12	12	11	10
佐賀県	74	81	73	69	65	2	2	1	1
長崎県	154	149	131	120	111	4	1	2	2
熊本県	160	197	180	169	160	4	6	5	4
大分県	104	128	115	107	100	2	4	3	2
宮崎県	107	120	106	98	91	3	3	2	2
鹿児島県	161	174	154	141	131	4	3	2	2
沖縄県	161	160	154	151	147	3	3	3	3

眼科

※事務局において機械的に計算（暫定版）

※留意点等は別ページを参照

	2016年		2024年	2030年	2036年	必要養成数に係る推計			
	2016年医師数（仕事量）	必要医師数（勤務時間調整後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	維持するための年 間養成数を 推計する	2024年の必要 年間養成数を 推計する	2030年の必要 年間養成数を 推計する	2036年の必要 年間養成数を 推計する
北海道	474	584	590	583	554	10	23	17	14
青森県	79	146	142	137	128	2	9	6	4
岩手県	103	146	142	138	130	2	7	4	4
宮城県	205	241	249	251	242	4	9	7	6
秋田県	86	122	115	110	102	2	5	4	3
山形県	91	125	121	117	110	2	5	4	3
福島県	144	206	204	201	191	3	10	7	6
茨城県	235	301	310	308	294	5	13	10	8
栃木県	155	205	210	209	200	3	10	7	6
群馬県	169	210	214	211	202	4	9	6	5
埼玉県	566	701	745	750	726	12	31	24	19
千葉県	487	539	565	565	545	10	19	15	13
東京都	1,884	1,395	1,458	1,490	1,476	38	-9	12	19
神奈川県	817	842	889	900	879	16	24	22	19
新潟県	170	252	248	243	230	4	13	9	7
富山県	111	117	116	113	107	3	3	3	2
石川県	119	120	122	121	115	3	3	3	3
福井県	78	84	83	82	78	1	2	2	2
山梨県	88	90	90	89	85	2	2	2	2
長野県	173	229	228	223	213	4	10	7	6
岐阜県	203	209	209	205	194	4	5	5	4
静岡県	299	401	407	401	383	7	19	13	11
愛知県	734	714	746	752	732	16	17	17	16
三重県	167	193	193	190	181	4	7	5	4
滋賀県	131	118	124	126	122	3	2	2	2
京都府	316	290	296	291	277	7	4	5	5
大阪府	1,085	907	927	912	873	24	6	12	13
兵庫県	644	571	586	582	559	14	8	10	10
奈良県	141	128	131	128	120	3	2	2	2
和歌山県	107	104	100	96	90	2	1	1	1
鳥取県	62	77	76	75	71	1	3	2	2
島根県	64	72	69	67	63	2	2	2	1
岡山県	203	212	213	209	199	5	6	5	4
広島県	280	302	306	302	289	6	9	8	7
山口県	132	165	160	153	143	3	6	4	3
徳島県	83	84	82	80	75	2	2	2	1
香川県	105	106	106	103	98	2	3	2	2
愛媛県	155	154	151	147	138	3	3	3	3
高知県	78	84	80	77	71	2	2	2	1
福岡県	552	532	553	558	539	12	12	12	11
佐賀県	79	88	88	87	83	2	3	2	2
長崎県	141	151	148	145	136	3	4	3	3
熊本県	186	193	192	190	181	4	5	4	4
大分県	101	136	134	131	124	2	6	4	3
宮崎県	110	144	141	138	131	3	6	4	4
鹿児島県	147	171	167	164	156	3	6	4	4
沖縄県	117	131	141	149	149	3	5	5	4

耳鼻咽喉科

※事務局において機械的に計算（暫定版）

※留意点等は別ページを参照

	2016年		2024年	2030年	2036年	必要養成数に係る推計			
	2016年医師数（仕事量）	必要医師数（勤務時間調整後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	維持するための年 間養成数を 推計する	2024年の必要 年間養成数を 推計する	2030年の必要 年間養成数を 推計する	2036年の必要 年間養成数を 推計する
北海道	371	400	378	360	339	9	10	8	7
青森県	69	96	87	81	75	2	4	3	2
岩手県	59	92	84	79	74	2	5	3	2
宮城県	158	170	164	158	150	4	4	4	3
秋田県	64	79	71	65	59	2	2	2	1
山形県	79	85	78	73	68	2	2	1	1
福島県	119	143	132	124	116	3	4	3	3
茨城県	132	205	195	186	176	3	11	7	6
栃木県	128	152	145	140	133	3	5	4	3
群馬県	104	148	141	135	128	3	7	5	4
埼玉県	371	510	505	495	477	9	24	17	14
千葉県	350	449	441	430	413	8	19	14	11
東京都	1,299	998	1,004	1,006	988	29	-5	9	14
神奈川県	608	635	627	618	599	14	16	14	13
新潟県	131	174	162	154	145	3	7	5	4
富山県	80	80	75	72	68	2	1	1	1
石川県	96	85	81	78	75	2	1	1	1
福井県	77	58	55	52	50	2	-1	0	0
山梨県	66	62	57	54	51	2	1	1	1
長野県	119	159	149	142	134	3	6	5	4
岐阜県	144	154	144	137	130	4	4	3	3
静岡県	234	285	272	261	248	5	10	7	6
愛知県	542	585	576	567	549	13	17	14	13
三重県	112	136	128	123	116	3	5	4	3
滋賀県	100	103	101	99	96	2	2	2	2
京都府	264	194	187	180	172	6	-2	1	2
大阪府	761	672	647	623	594	19	6	9	10
兵庫県	405	424	407	392	374	10	10	9	8
奈良県	112	103	96	91	86	3	1	1	1
和歌山県	80	82	75	70	66	2	1	1	1
鳥取県	47	48	45	43	41	1	1	1	1
島根県	46	52	48	46	43	1	1	1	1
岡山県	161	145	139	134	128	4	1	2	2
広島県	222	215	208	201	193	6	4	4	4
山口県	99	106	98	92	86	2	2	2	2
徳島県	66	60	56	52	49	2	1	1	1
香川県	85	77	72	69	66	2	1	1	1
愛媛県	124	105	97	92	86	3	0	1	1
高知県	59	58	53	49	46	1	1	1	1
福岡県	382	397	391	384	369	9	10	9	8
佐賀県	65	69	65	63	60	2	2	1	1
長崎県	105	112	104	98	91	3	3	2	2
熊本県	112	149	142	137	130	3	6	5	4
大分県	62	97	91	87	82	2	5	3	3
宮崎県	70	94	88	84	79	2	4	3	2
鹿児島県	101	131	121	115	108	3	5	4	3
沖縄県	87	107	108	109	107	2	5	4	3

泌尿器科

※事務局において機械的に計算（暫定版）

※留意点等は別ページを参照

	2016年		2024年	2030年	2036年	必要養成数に係る推計			
	2016年医師数（仕事量）	必要医師数（勤務時間調整後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	維持するための年 間養成数を 推計する	2024年の必要 年間養成数を 推計する	2030年の必要 年間養成数を 推計する	2036年の必要 年間養成数を 推計する
北海道	339	359	366	365	352	10	13	11	10
青森県	96	88	87	85	81	3	2	2	2
岩手県	82	87	86	84	81	2	3	2	2
宮城県	124	148	154	157	154	4	7	6	5
秋田県	81	76	73	70	66	2	1	1	1
山形県	83	92	91	90	86	2	3	3	2
福島県	102	131	131	130	125	3	6	5	4
茨城県	126	178	185	185	179	3	10	8	6
栃木県	85	127	131	131	127	2	7	5	4
群馬県	116	137	140	140	135	3	6	5	4
埼玉県	289	390	419	427	419	8	23	17	14
千葉県	292	367	390	395	386	8	19	15	13
東京都	811	918	964	990	986	20	38	33	29
神奈川県	452	509	545	560	553	11	22	19	17
新潟県	99	158	157	155	148	3	10	7	5
富山県	53	73	74	73	70	1	4	3	2
石川県	75	77	79	78	76	2	2	2	2
福井県	53	51	52	51	49	1	1	1	1
山梨県	50	50	51	50	49	1	1	1	1
長野県	103	149	150	148	143	3	8	6	5
岐阜県	93	135	135	134	128	3	8	5	4
静岡県	205	246	252	251	243	6	11	9	8
愛知県	342	463	488	497	488	9	26	20	16
三重県	90	108	109	109	105	3	5	4	3
滋賀県	84	81	86	87	86	2	2	2	2
京都府	207	174	179	178	172	5	2	3	3
大阪府	645	566	584	581	562	17	10	13	13
兵庫県	319	345	357	358	348	9	13	12	11
奈良県	100	88	89	88	84	3	1	2	2
和歌山県	60	64	63	60	57	2	2	2	2
鳥取県	41	40	40	40	38	1	1	1	1
島根県	48	47	46	45	43	1	1	1	1
岡山県	112	128	129	128	124	3	5	4	4
広島県	143	186	191	191	184	4	9	7	6
山口県	106	97	96	93	88	3	2	2	2
徳島県	62	53	52	51	49	2	1	1	1
香川県	89	67	67	66	64	2	0	1	1
愛媛県	116	94	93	92	88	3	1	2	2
高知県	61	53	51	49	47	2	1	1	1
福岡県	326	330	346	352	345	9	11	11	10
佐賀県	55	52	52	52	50	2	1	1	1
長崎県	90	92	92	90	86	3	3	3	3
熊本県	141	121	121	121	117	4	2	2	3
大分県	87	81	81	80	76	2	1	2	2
宮崎県	67	73	73	72	69	2	3	2	2
鹿児島県	121	112	111	109	105	3	2	2	2
沖縄県	67	83	90	95	96	2	5	4	4

脳神経外科

※事務局において機械的に計算（暫定版）

※留意点等は別ページを参照

	2016年		2024年	2030年	2036年	必要養成数に係る推計			
	2016年医師数（仕事量）	必要医師数（勤務時間調整後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	維持するための年 間養成数を 推定する 2016年の 医師数を 数	達成するための 必要医師 数を 推定する 2024年の 必要医師 数を 数	達成するための 必要医師 数を 推定する 2030年の 必要医師 数を 数	達成するための 必要医師 数を 推定する 2036年の 必要医師 数を 数
北海道	411	402	431	445	442	10	13	13	12
青森県	52	100	103	103	101	1	7	5	4
岩手県	82	100	101	101	99	2	4	3	3
宮城県	104	163	176	183	184	3	11	8	7
秋田県	74	90	90	88	85	2	3	3	2
山形県	63	91	91	90	88	2	5	3	3
福島県	97	142	146	148	147	2	8	6	5
茨城県	163	210	227	237	236	4	11	9	8
栃木県	89	137	145	150	149	2	8	6	5
群馬県	97	148	157	163	162	3	9	7	6
埼玉県	282	440	504	536	538	7	32	24	20
千葉県	298	406	458	483	482	7	25	20	16
東京都	936	837	914	957	965	21	19	23	23
神奈川県	460	562	637	676	680	11	31	26	22
新潟県	130	179	183	184	181	3	9	7	6
富山県	69	84	88	89	88	2	4	3	3
石川県	79	84	89	92	92	2	3	3	3
福井県	54	59	61	61	61	1	2	2	2
山梨県	59	67	70	72	71	2	3	3	2
長野県	123	169	174	177	174	3	9	7	6
岐阜県	109	141	148	151	149	3	7	6	5
静岡県	208	274	293	302	300	5	15	12	10
愛知県	383	467	520	547	549	8	24	20	17
三重県	98	128	134	136	135	2	6	5	4
滋賀県	74	87	95	100	101	2	4	3	3
京都府	172	178	193	200	198	4	7	6	5
大阪府	604	587	646	667	658	14	19	19	17
兵庫県	330	383	418	435	433	8	18	15	13
奈良県	85	91	98	100	98	2	4	3	3
和歌山県	77	75	76	75	73	2	2	2	2
鳥取県	31	48	49	49	49	1	3	2	2
島根県	38	56	56	55	54	1	3	2	2
岡山県	154	141	148	150	149	4	3	4	4
広島県	197	203	216	223	221	5	7	7	6
山口県	112	113	115	115	112	3	3	3	3
徳島県	64	62	63	63	62	2	2	2	2
香川県	80	74	77	78	77	2	2	2	2
愛媛県	104	108	111	111	110	3	4	3	3
高知県	72	61	60	59	58	2	1	1	1
福岡県	366	350	382	400	402	9	10	11	10
佐賀県	65	61	62	63	63	2	1	2	2
長崎県	86	106	108	109	107	2	5	4	3
熊本県	100	135	139	141	140	3	7	5	5
大分県	82	92	95	96	95	2	4	3	3
宮崎県	68	87	89	90	89	2	4	3	3
鹿児島県	119	132	132	133	131	3	5	4	4
沖縄県	72	83	93	100	103	2	4	4	3

放射線科

※事務局において機械的に計算（暫定版）

※留意点等は別ページを参照

	2016年		2024年	2030年	2036年	必要養成数に係る推計			
	2016年医師数（仕事量）	必要医師数（勤務時間調整後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	維持するための年 間養成数を 推定する 2016年の 医師数を 数	達成するための 必要医師 数を 推定する 2024年の 必要医師 数を 数	達成するための 必要医師 数を 推定する 2030年の 必要医師 数を 数	達成するための 必要医師 数を 推定する 2036年の 必要医師 数を 数
北海道	210	317	318	314	302	5	16	11	9
青森県	34	79	76	73	69	1	5	3	3
岩手県	45	76	74	71	68	1	4	3	2
宮城県	126	131	134	134	130	3	4	3	3
秋田県	29	65	61	58	55	1	4	3	2
山形県	58	69	66	64	61	1	2	2	1
福島県	74	112	110	107	103	2	6	4	3
茨城県	86	162	163	163	157	2	10	7	5
栃木県	79	113	114	113	109	2	6	4	3
群馬県	108	116	116	116	112	2	3	3	2
埼玉県	187	372	392	398	389	5	27	19	14
千葉県	206	333	347	350	342	5	20	14	11
東京都	986	752	783	801	795	21	-2	8	11
神奈川県	399	469	493	502	494	9	19	16	13
新潟県	94	138	135	132	126	2	7	5	4
富山県	61	64	63	62	59	2	2	2	2
石川県	97	66	67	66	64	2	-1	0	0
福井県	66	46	45	44	43	1	-1	0	0
山梨県	42	49	48	47	45	1	1	1	1
長野県	85	127	125	122	118	2	6	4	3
岐阜県	69	116	115	113	108	1	6	4	3
静岡県	129	216	218	216	208	3	13	9	7
愛知県	351	410	426	431	423	7	15	12	10
三重県	97	102	101	100	96	2	3	2	2
滋賀県	88	75	78	79	77	2	1	1	2
京都府	248	150	152	151	146	5	-6	-2	0
大阪府	606	498	508	504	487	14	3	8	9
兵庫県	294	314	319	319	309	7	9	8	7
奈良県	103	76	76	75	72	2	-1	0	1
和歌山県	56	60	57	55	52	1	1	1	1
鳥取県	43	37	36	35	34	1	0	0	1
島根県	48	43	41	40	38	1	0	1	1
岡山県	155	112	112	111	107	3	-1	1	1
広島県	153	164	166	165	160	4	5	4	4
山口県	93	85	82	79	76	2	1	1	1
徳島県	64	48	46	44	42	2	0	0	0
香川県	69	59	58	57	55	2	0	1	1
愛媛県	123	84	82	79	76	3	-2	0	1
高知県	49	46	44	42	40	1	1	1	1
福岡県	365	291	299	302	295	9	1	4	5
佐賀県	57	50	49	48	47	1	0	1	1
長崎県	95	83	81	78	75	2	1	1	1
熊本県	131	110	109	107	103	3	0	1	2
大分県	83	72	71	69	66	2	1	1	1
宮崎県	76	70	68	67	64	2	1	1	1
鹿児島県	95	99	96	93	90	2	2	2	2
沖縄県	82	74	78	81	82	2	1	2	2

麻酔科

※事務局において機械的に計算（暫定版）

※留意点等は別ページを参照

	2016年		2024年	2030年	2036年	必要養成数に係る推計			
	2016年医師数（仕事量）	必要医師数（勤務時間調整後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	維持するための年 間養成数を 2016年の医師数を 数	達成するための年 間養成数を 2024年の必要医師 数を	達成するための年 間養成数を 2030年の必要医師 数を	達成するための年 間養成数を 2036年の必要医師 数を
北海道	544	448	445	437	419	14	2	6	7
青森県	74	109	104	100	94	2	6	4	3
岩手県	62	110	105	101	96	2	7	4	3
宮城県	164	187	189	189	183	4	7	6	5
秋田県	56	93	87	81	76	2	5	3	3
山形県	60	97	92	88	84	1	5	4	3
福島県	106	158	153	149	142	3	8	6	5
茨城県	147	222	223	220	212	4	12	9	7
栃木県	147	159	159	157	152	4	5	4	4
群馬県	156	167	167	165	159	4	5	5	4
埼玉県	365	519	541	546	533	9	29	21	17
千葉県	344	465	480	482	469	9	24	18	15
東京都	1,320	1,094	1,134	1,157	1,148	30	9	19	21
神奈川県	639	667	693	702	690	15	21	20	18
新潟県	105	195	189	183	175	3	13	8	6
富山県	90	89	88	85	82	2	2	2	2
石川県	92	93	93	92	89	3	3	3	2
福井県	53	65	64	62	60	1	3	2	2
山梨県	57	68	67	65	63	1	2	2	2
長野県	155	177	174	170	163	4	6	5	4
岐阜県	91	163	160	156	150	2	10	7	5
静岡県	211	301	300	296	286	5	16	11	9
愛知県	476	578	596	601	589	10	24	19	16
三重県	70	143	141	138	133	2	10	7	5
滋賀県	96	105	108	109	107	2	4	3	3
京都府	243	208	210	207	200	6	2	3	4
大阪府	752	708	714	705	681	18	14	15	14
兵庫県	438	437	441	438	424	11	11	11	10
奈良県	90	107	106	103	98	2	4	3	3
和歌山県	69	82	78	74	70	2	3	2	2
鳥取県	47	50	49	47	46	1	1	1	1
島根県	75	59	57	54	52	2	0	0	1
岡山県	201	159	157	155	149	5	0	2	2
広島県	220	229	230	228	220	6	7	6	6
山口県	98	118	113	109	103	3	4	3	3
徳島県	61	67	64	62	59	2	2	2	1
香川県	92	83	81	79	76	2	1	1	1
愛媛県	91	118	114	110	105	3	5	4	3
高知県	66	64	60	57	54	2	1	1	1
福岡県	456	412	422	424	414	11	7	9	9
佐賀県	72	68	67	66	63	2	1	1	1
長崎県	103	117	113	109	104	3	4	3	3
熊本県	153	150	147	144	139	4	3	3	3
大分県	99	99	96	94	90	3	2	2	2
宮崎県	84	93	90	88	84	2	3	2	2
鹿児島県	134	137	132	128	122	4	3	3	3
沖縄県	125	105	111	115	115	3	1	2	2

病理診断科

※事務局において機械的に計算（暫定版）

※留意点等は別ページを参照

	2016年		2024年	2030年	2036年	必要養成数に係る推計			
	2016年医師数（仕事量）	必要医師数（勤務時間調整後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	維持するための年 間養成数を 2016年の医師数を 数	達成するための年 間養成数を 2024年の必要医師 数を	達成するための年 間養成数を 2030年の必要医師 数を	達成するための年 間養成数を 2036年の必要医師 数を
北海道	86	89	88	87	83	2	3	2	2
青森県	10	22	21	20	19	0	2	1	1
岩手県	11	22	21	20	19	0	1	1	1
宮城県	32	37	38	37	36	1	1	1	1
秋田県	13	18	17	16	15	0	1	1	0
山形県	16	19	18	18	17	0	1	1	0
福島県	17	31	30	29	28	1	2	1	1
茨城県	34	44	44	44	42	1	2	1	1
栃木県	29	32	32	31	30	1	1	1	1
群馬県	30	33	33	33	31	1	1	1	1
埼玉県	66	103	107	108	106	2	6	5	4
千葉県	62	92	95	96	93	2	5	4	3
東京都	318	217	225	229	228	8	-2	2	3
神奈川県	124	132	137	139	137	3	5	4	4
新潟県	33	39	37	36	35	1	1	1	1
富山県	16	18	17	17	16	0	1	0	0
石川県	21	19	18	18	18	1	0	0	0
福井県	9	13	13	12	12	0	1	0	0
山梨県	13	14	13	13	12	0	0	0	0
長野県	28	35	34	34	32	1	2	1	1
岐阜県	28	32	32	31	30	1	1	1	1
静岡県	51	60	60	59	57	1	2	2	2
愛知県	107	115	118	119	117	3	4	4	3
三重県	19	28	28	27	26	0	1	1	1
滋賀県	27	21	21	22	21	1	0	0	0
京都府	52	41	42	41	40	1	0	1	1
大阪府	136	140	142	140	135	4	4	4	3
兵庫県	81	87	87	87	84	2	3	2	2
奈良県	23	21	21	20	20	1	0	0	0
和歌山県	12	16	15	15	14	0	1	0	0
鳥取県	11	10	10	9	9	0	0	0	0
島根県	11	12	11	11	10	0	0	0	0
岡山県	40	31	31	31	30	1	0	0	0
広島県	31	45	46	45	44	1	2	2	1
山口県	9	23	22	22	20	0	2	1	1
徳島県	8	13	13	12	12	0	1	1	0
香川県	21	16	16	16	15	1	0	0	0
愛媛県	20	23	23	22	21	1	1	1	1
高知県	9	13	12	11	11	0	1	0	0
福岡県	82	82	84	84	82	2	2	2	2
佐賀県	17	14	13	13	13	0	0	0	0
長崎県	20	23	22	22	21	1	1	1	1
熊本県	18	30	29	29	28	1	2	1	1
大分県	20	20	19	19	18	0	0	0	0
宮崎県	14	18	18	17	17	0	1	1	1
鹿児島県	24	27	26	25	24	1	1	1	1
沖縄県	22	21	22	23	23	1	1	1	1

臨床検査

※事務局において機械的に計算（暫定版）

※留意点等は別ページを参照

	2016年		2024年	2030年	2036年	必要養成数に係る推計			
	2016年医師数（仕事量）	必要医師数（勤務時間調整後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	維持するための年 間養成数を 2016年の医師数を 数	達成するための年 間養成数を 2024年の必要医師数を 数	達成するための年 間養成数を 2030年の必要医師数を 数	達成するための年 間養成数を 2036年の必要医師数を 数
北海道	17	27	27	27	26	1	2	2	1
青森県	8	7	6	6	6	0	0	0	0
岩手県	6	6	6	6	6	0	0	0	0
宮城県	12	11	11	11	11	0	0	0	0
秋田県	8	6	5	5	5	0	0	0	0
山形県	2	6	6	5	5	0	0	0	0
福島県	6	10	9	9	9	0	1	1	0
茨城県	7	14	14	14	13	0	1	1	1
栃木県	20	10	10	10	9	1	0	0	0
群馬県	12	10	10	10	9	0	0	0	0
埼玉県	17	31	33	34	33	1	3	2	2
千葉県	22	28	29	30	29	1	2	1	1
東京都	101	64	66	68	67	4	-1	1	2
神奈川県	32	40	42	42	42	1	3	2	2
新潟県	10	12	11	11	11	0	1	1	0
富山県	10	5	5	5	5	0	0	0	0
石川県	4	6	6	6	5	0	0	0	0
福井県	4	4	4	4	4	0	0	0	0
山梨県	3	4	4	4	4	0	0	0	0
長野県	12	11	11	10	10	0	0	0	0
岐阜県	8	10	10	10	9	0	1	0	0
静岡県	13	18	18	18	18	0	1	1	1
愛知県	26	35	36	36	36	1	2	2	2
三重県	3	9	9	8	8	0	1	1	0
滋賀県	4	6	7	7	7	0	0	0	0
京都府	11	13	13	13	12	0	1	1	0
大阪府	39	42	43	43	41	2	2	2	2
兵庫県	13	27	27	27	26	1	2	2	1
奈良県	5	6	6	6	6	0	0	0	0
和歌山県	6	5	5	5	4	0	0	0	0
鳥取県	2	3	3	3	3	0	0	0	0
島根県	4	4	3	3	3	0	0	0	0
岡山県	20	10	9	9	9	1	-1	0	0
広島県	12	14	14	14	14	0	1	1	1
山口県	5	7	7	7	6	0	0	0	0
徳島県	2	4	4	4	4	0	0	0	0
香川県	5	5	5	5	5	0	0	0	0
愛媛県	7	7	7	7	6	0	0	0	0
高知県	5	4	4	4	3	0	0	0	0
福岡県	24	25	25	26	25	1	1	1	1
佐賀県	1	4	4	4	4	0	0	0	0
長崎県	15	7	7	7	6	0	-1	0	0
熊本県	5	9	9	9	9	0	1	1	0
大分県	3	6	6	6	6	0	0	0	0
宮崎県	3	6	6	6	5	0	0	0	0
鹿児島県	6	8	8	8	8	0	0	0	0
沖縄県	7	6	7	7	7	0	0	0	0

救急科

※事務局において機械的に計算（暫定版）

※留意点等は別ページを参照

	2016年		2024年	2030年	2036年	必要養成数に係る推計			
	2016年医師数（仕事量）	必要医師数（勤務時間調整後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	維持するための年 間養成数を 2016年の医師数を 数	達成するための年 間養成数を 2024年の必要医師数を 数	達成するための年 間養成数を 2030年の必要医師数を 数	達成するための年 間養成数を 2036年の必要医師数を 数
北海道	99	186	186	184	177	2	13	9	7
青森県	36	46	44	43	41	1	2	1	1
岩手県	21	45	43	42	40	1	3	2	2
宮城県	63	77	78	79	76	2	3	3	2
秋田県	11	38	36	34	32	0	4	2	2
山形県	20	41	39	37	36	1	3	2	1
福島県	32	66	64	63	60	1	5	3	2
茨城県	55	95	96	95	92	1	6	4	3
栃木県	59	66	67	66	64	2	3	2	2
群馬県	57	68	68	68	66	1	3	2	2
埼玉県	164	218	230	233	229	4	12	9	8
千葉県	190	195	204	206	200	5	6	6	5
東京都	549	441	460	470	466	14	3	8	9
神奈川県	278	275	289	295	290	7	8	8	8
新潟県	38	81	79	77	74	1	6	4	3
富山県	19	38	37	36	35	1	3	2	1
石川県	31	39	39	39	38	1	2	1	1
福井県	44	27	26	26	25	1	-1	0	0
山梨県	21	29	28	28	27	1	1	1	1
長野県	82	74	73	72	69	2	1	2	2
岐阜県	39	68	67	66	63	1	5	3	2
静岡県	73	127	128	127	122	2	8	6	4
愛知県	154	240	250	253	248	4	16	12	9
三重県	24	60	60	59	56	1	5	3	3
滋賀県	43	44	46	46	45	1	1	1	1
京都府	103	88	89	89	86	2	1	1	1
大阪府	339	292	298	296	286	9	4	6	6
兵庫県	157	184	187	187	181	4	8	6	5
奈良県	47	45	45	44	42	1	1	1	1
和歌山県	36	35	34	32	31	1	1	1	1
鳥取県	8	22	21	21	20	0	2	1	1
島根県	17	25	24	23	22	1	1	1	1
岡山県	69	66	66	65	63	2	1	2	1
広島県	65	96	97	97	94	2	6	4	3
山口県	31	50	48	47	44	1	3	2	1
徳島県	19	28	27	26	25	1	2	1	1
香川県	22	35	34	33	32	1	2	2	1
愛媛県	19	49	48	47	45	0	4	2	2
高知県	32	27	26	25	23	1	0	0	0
福岡県	157	171	176	177	173	4	6	6	5
佐賀県	30	29	29	28	27	1	1	1	1
長崎県	37	49	47	46	44	1	2	2	1
熊本県	74	65	64	63	61	2	0	1	1
大分県	20	42	41	41	39	1	3	2	2
宮崎県	28	41	40	39	37	1	2	2	1
鹿児島県	45	58	56	55	53	1	2	2	1
沖縄県	78	43	46	48	48	2	-2	0	0

形成外科

※事務局において機械的に計算（暫定版）

※留意点等は別ページを参照

	2016年		2024年	2030年	2036年	必要養成数に係る推計			
	2016年医師数（仕事量）	必要医師数（勤務時間調整後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	2016年の医師数を維持するための年間養成数	2024年の必要医師数を達成するための年間養成数	2030年の必要医師数を達成するための年間養成数	2036年の必要医師数を達成するための年間養成数
北海道	127	160	159	156	150	4	7	6	5
青森県	16	39	37	36	34	0	3	2	1
岩手県	23	39	38	36	34	1	2	2	1
宮城県	64	67	68	67	65	2	2	2	2
秋田県	11	33	31	29	27	0	3	2	1
山形県	16	35	33	32	30	0	2	2	1
福島県	43	56	55	53	51	1	3	2	2
茨城県	46	79	80	79	76	1	5	4	3
栃木県	50	57	57	56	54	1	2	2	2
群馬県	27	60	60	59	57	1	4	3	2
埼玉県	137	185	193	195	190	4	10	8	7
千葉県	146	166	171	172	167	4	7	6	5
東京都	718	390	405	413	410	21	-15	-1	4
神奈川県	241	238	247	251	246	7	8	8	7
新潟県	32	69	67	65	63	1	5	3	3
富山県	22	32	31	30	29	1	2	1	1
石川県	39	33	33	33	32	1	1	1	1
福井県	12	23	23	22	21	0	2	1	1
山梨県	15	24	24	23	22	0	1	1	1
長野県	67	63	62	61	58	2	1	2	2
岐阜県	20	58	57	56	53	1	5	3	2
静岡県	87	107	107	106	102	2	5	4	3
愛知県	108	206	213	214	210	3	15	11	8
三重県	13	51	50	49	47	0	5	3	2
滋賀県	29	38	39	39	38	1	2	1	1
京都府	75	74	75	74	71	2	2	2	2
大阪府	279	253	255	252	243	8	5	6	6
兵庫県	153	156	157	156	151	4	5	4	4
奈良県	26	38	38	37	35	1	2	1	1
和歌山県	13	29	28	27	25	0	2	1	1
鳥取県	6	18	17	17	16	0	1	1	1
島根県	14	21	20	19	19	0	1	1	1
岡山県	70	57	56	55	53	2	0	1	1
広島県	50	82	82	81	79	2	5	4	3
山口県	15	42	40	39	37	0	3	2	2
徳島県	28	24	23	22	21	1	0	0	0
香川県	32	29	29	28	27	1	1	1	1
愛媛県	35	42	41	39	38	1	2	1	1
高知県	25	23	21	20	19	1	0	0	0
福岡県	172	147	151	151	148	5	3	3	4
佐賀県	18	24	24	23	23	0	1	1	1
長崎県	48	42	40	39	37	2	1	1	1
熊本県	26	53	52	51	50	1	4	3	2
大分県	25	35	34	33	32	1	2	1	1
宮崎県	17	33	32	31	30	0	2	2	1
鹿児島県	26	49	47	45	44	1	3	2	2
沖縄県	45	38	40	41	41	1	1	1	1

リハビリテーション科

※事務局において機械的に計算（暫定版）

※留意点等は別ページを参照

	2016年		2024年	2030年	2036年	必要養成数に係る推計			
	2016年医師数（仕事量）	必要医師数（勤務時間調整後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	必要医師数（勤務時間補正後）	2016年の医師数を維持するための年間養成数を	2024年の必要医師数を達成するための年間養成数を	2030年の必要医師数を達成するための年間養成数を	2036年の必要医師数を達成するための年間養成数を
北海道	93	108	108	107	103	2	4	3	2
青森県	9	27	26	25	24	0	2	1	1
岩手県	11	26	25	24	23	0	2	1	1
宮城県	63	45	45	46	44	1	-1	0	0
秋田県	23	22	21	20	19	0	0	0	0
山形県	13	24	23	22	21	0	1	1	1
福島県	10	38	37	36	35	0	3	2	1
茨城県	29	55	56	55	53	1	4	2	2
栃木県	28	39	39	38	37	1	2	1	1
群馬県	36	40	40	39	38	1	1	1	1
埼玉県	82	126	133	135	132	2	7	5	4
千葉県	109	113	118	119	116	2	3	3	3
東京都	330	256	266	272	270	7	0	3	4
神奈川県	142	160	168	171	168	3	5	4	4
新潟県	27	47	46	45	43	1	3	2	1
富山県	18	22	21	21	20	0	1	1	1
石川県	27	23	23	23	22	1	0	0	0
福井県	16	16	15	15	15	0	0	0	0
山梨県	19	17	16	16	15	1	0	0	0
長野県	30	43	42	42	40	1	2	1	1
岐阜県	18	39	39	38	37	0	3	2	1
静岡県	73	74	74	73	71	1	1	1	1
愛知県	120	139	145	147	144	3	6	5	4
三重県	21	35	34	34	33	0	2	1	1
滋賀県	27	26	26	27	26	1	1	1	1
京都府	55	51	52	51	50	1	1	1	1
大阪府	205	169	173	171	166	5	1	3	3
兵庫県	101	107	109	108	105	2	3	3	2
奈良県	36	26	26	25	24	1	0	0	0
和歌山県	33	20	19	19	18	0	-1	0	0
鳥取県	19	13	12	12	12	1	0	0	0
島根県	22	14	14	13	13	1	0	0	0
岡山県	65	38	38	38	37	1	-2	-1	0
広島県	46	56	56	56	54	1	2	1	1
山口県	30	29	28	27	26	1	1	1	1
徳島県	14	16	16	15	14	0	1	1	0
香川県	17	20	20	19	19	0	1	0	0
愛媛県	36	29	28	27	26	1	0	0	0
高知県	18	16	15	14	13	0	0	0	0
福岡県	119	99	102	103	100	3	1	2	2
佐賀県	14	17	17	16	16	0	1	0	0
長崎県	18	28	27	27	25	0	2	1	1
熊本県	37	37	37	36	35	1	1	1	1
大分県	19	24	24	23	23	0	1	1	1
宮崎県	22	24	23	23	22	0	1	0	0
鹿児島県	52	34	33	32	30	1	-1	0	0
沖縄県	34	25	27	28	28	1	0	0	0